第56回体育会表彰式

スピードスケート部のメンバーと前嶋孝監督（前列中央）、石崎徹体育部長・同部部長代行（同左から4人目）。チーム一丸となって結果を残した

最優秀団体賞　スピードスケート部

3月21日、東京・九段下のホテルグランドパレスで第56回専修大学体育会表彰式・祝賀会が行われ、今年度、国内外の大会で優秀な成績を収めた団体、個人が表彰された。

最優秀団体賞には、1月に行われた日本学生氷上競技選手権のスピード部門で3年ぶりの優勝を果たすなど、多くの大会で結果を残したスピードスケート部が選ばれた。

最優秀選手賞は、国内外の大会で活躍した同部の土屋良輔（経営4・嬬恋高）が受賞した。

最優秀新人賞は卓球部の及川瑞基（商1・青森山田高）が受賞（ドイツ遠征のため欠席）。同賞は昨年の安藤みなみ（商2・慶誠高）、一昨年の田添健汰（商3・希望が丘高）に続き、3年連続で卓球部から選出された。

最優秀選手賞

土屋良輔

土屋は今年度、数々の大会で表彰台に上った。

長野で行われた全日本距離別選手権で念願の初優勝を果たすと、ワールドカップ・アスタナ大会（カザフスタン）では団体種目のチームパシュートで日本勢初の優勝に貢献。ヘーレンフェーン大会（オランダ）では得意とする1万㍍で日本記録を大きく更新した。その後、世界距離別選手権（韓国・江陵市）で自身の記録をさらに塗り替えた。日本学生氷上競技選手権でも2種目で優勝し、チームを団体優勝に導いた。

土屋は、「（最優秀選手賞は）4年間の中で目指していたことの一つ。目標が達成できた」と喜びを表し、「昨シーズンは世界の舞台に足を踏み入れた感覚で終わったが、大会を積み重ねるごとに世界で戦っていけると実感した。今シーズンは自信を持ってレースに挑めるようになった」と振り返った。

卒業後は、社会人スケーターとして平昌オリンピック出場を目指す。「オリンピックの1万㍍で12分台を出して5位以内が目標。また、チームパシュートでは金メダルを目指したい」と力強く抱負を語った。

（飛田翼・文2）

受賞者を代表して感謝の言葉を述べる土屋

最優秀新人賞

及川瑞基　卓球部

及川の力強いショット（写真は全日本学生選抜選手権）

及川の専大デビューは、関東大学春季リーグ戦の法大戦。

チームの5番手としての出場に「緊張して硬くなってしまった」と振り返ったが、それを感じさせない頼もしいプレーを披露。初出場で初勝利を果たし、チームを勝利に導いた。

その後も活躍を続け、三部航平（商1・青森山田高）とともにリーグ戦で最優秀新人賞を受賞した。

高宮啓監督も「状況判断の能力にたけている。粗さもあるが、これから粘り強くプレーしていってほしい」と期待を込めた。

関東大学新人戦では決勝で三部と対決。及川が接戦を制し、優勝を手にした。

台の近くでのプレーを得意とし、力強いショットが特徴の及川。新年度は、個人の成績はもちろんのこと、昨年度かなえることのできなかったリーグ戦優勝、全日本大学選手権優勝のためにどれだけチームに貢献できるか。

及川の活躍が卓球部躍進につながる。

（冨樫幸恵・文2＝写真も）

4人に川島記念特別功労賞

表彰式に先立ち、五輪、アジア大会、ユニバーシアードなどの国際大会で好成績を収めた選手をたたえる川島記念特別功労賞の授与式が行われた。受賞者は冬季アジア大会でメダルを獲得したスキー部の馬場直人（大会出場のため欠席）、スピードスケート部の土屋良輔、近藤太郎（12面に記事）と、ユニバーシアード冬季競技大会のチームパシュートで銀メダルを獲得した小川翔也（文4・池田高）の4人。川島記念会会長の日髙義博理事長から賞状が、佐々木重人学長からメダルが授与された。

受賞者一覧

学生の敬称略。カッコ内は部名
★印は新人賞受賞者

【最優秀団体賞・校友会賞】▽スピードスケート部
【優秀団体賞】▽卓球部（男子）▽卓球部（女子）▽馬術部▽フェンシング部（女子）▽レスリング部
【敢闘団体賞】▽アーチェリー部（男子）▽ローラースケート部
【最優秀選手賞・育友会賞・日本新記録賞】▽土屋良輔（スピードスケート）
【優秀選手賞・最優秀新人賞・育友会賞】▽及川瑞基（卓球）
【優秀選手賞】▽織田真理子（アーチェリー）▽馬場直人（スキー）▽近藤太郎▽小川翔也（以上スピードスケート）▽田添健汰▽郡山北斗▽三部航平★▽安藤みなみ（以上卓球）▽菊池小巻（フェンシング）▽河名真寿斗▽中村倫也▽井出光星（以上レスリング）
【殊勲選手賞】▽遠藤良祐（アーチェリー）▽服部友香▽市村朋也★（以上水泳）▽池田崇将▽岩下稜▽辻本一史（以上スピードスケート）▽田添響▽鈴木李茄（以上卓球）▽大當祥貴（馬術）▽アブ・フィリップ★▽野口夏来（以上バスケットボール）▽重山智佳（バドミントン）▽安部夏帆（フェンシング）▽与那覇竜太▽但野航▽松尾侑亮▽松井涼▽桑山裕貴▽吉澤拳斗▽松雪泰成★（以上レスリング）▽座間天平★※日本新記録賞▽松原光▽常盤直樹（以上ローラースケート）
【敢闘選手賞】▽塚本薫▽平野青地（以上剣道）▽小口大貴▽飯田貴敬（以上サッカー）▽金子翔馬▽大野恵和▽猪股瑛司（以上準硬式野球）▽庄司有貴▽武久美月★（以上卓球）▽小林宥太（日本拳法）▽川上美嬉▽渡部友里奈▽小笠原美奈★（以上バスケットボール）▽原田圭佑▽徳田朱里▽泉澤カンナ★（以上フェンシング）▽森山恵佑▽秦匠太朗（以上野球）▽下地恵永（レスリング）▽田中潤▽笹目隆太郎▽永井尊瑠▽川畑有彩▽徳丸春花▽本木りずむ▽山田加奈（以上ローラースケート）
【特別賞（体育会OB会賞）】▽前嶋孝氏（スピードスケート部監督）
【功労賞】▽石村修氏（ハンドボール部部長）▽加藤茂夫氏（野球部部長）▽池本正純氏（ラグビー部部長）▽佐々木貞昭氏（スキー部監督）▽小泉啓次朗氏（日本拳法部前監督）▽小山聡氏（ハンドボール部監督）▽故柄澤康善氏（ヨット部前監督）▽伊藤国光氏（陸上競技部前監督）
【学生功労賞】▽池田善登（体育会本部会計部長＝卓球）▽石田美華（同広報部長＝体育会本部情宣局）▽新井健太郎（同情宣局前編集長）▽今野明星（スピードスケート）▽中井裕貴（卓球）▽父母一成（レスリング）▽宮下和輝（アイスホッケー）▽橘井駿（山岳）▽盛一杏実（準硬式野球）▽半田颯汰（バレーボール）▽笠原大（ボウリング）▽常盤直樹（ローラースケート）
【感謝状】▽学生自治会▽全學應援團

グレコ・59kg　河名
国際大会2連勝

レスリング部の河名真寿斗（文4・三次高）が初めて参加した二つのシニアの国際大会（グレコローマンスタイル59kg級）で優勝した。

学生選抜チームの一員として出場したデーブ・シュルツ国際大会（2月1日、米国・コロラドスプリングス）は準決勝、決勝をフォール勝ちで初優勝を遂げた。

続くザグレブ・オープン（3月11日、クロアチア・ザグレブ）には、男子グレコローマン全日本チームの一員として参加。

準決勝で2016年欧州選手権5位のイワン・リザトビッチ選手（クロアチア）を5―0で破ると、決勝は第2ピリオドでテクニカルフォール勝ちした。

2年ぶりVへ

東都春季リーグ　4月4日に開幕

東都大学野球春季リーグ戦が4月4日に開幕する。専大の初戦の対戦校は亜大。2年ぶりのリーグ優勝を目指す。

昨秋、力を発揮した1、2年次生が今季の主力になる。ベストナインを獲得した秦匠太朗（経営2・二松學舎付高）、4番を任された平湯蒼藍（経済1・長崎海星高）、正捕手の座をつかんだ深水裕貴（経営1・熊本工高）に注目だ。

投手陣に目を向けると、今年もエースとして柱になることが期待される高橋礼（商3・専大松戸高）や入れ替え戦で完封勝利を収めた堀田竜也（経営3・常葉菊川高）が最高学年としてチームを引っ張る。

新主将に指名された和田裕生（経済3・福岡大大濠高）は「入れ替え戦を戦ったからこそ、勝ちにこだわることの大切さを実感した」と振り返ったうえで、「目標は口に出さないとかなわない。今季の目標はリーグ優勝」と力強く、決意を口にした。

（冨樫）

東都大学野球春季リーグ戦日程

4月4日(火)13:30	亜　大―専　大
5日(水)11:00	専　大―亜　大
11日(火)13:00	國學大―専　大
12日(水)10:30	専　大―國學大
25日(火)11:00	日　大―専　大
26日(水)13:30	専　大―日　大
5月1日(月)11:00	東洋大―専　大
2日(火)13:00	専　大―東洋大
16日(火)13:30	中　大―専　大
17日(水)11:00	専　大―中　大

◇明治神宮野球場で開催。左側が三塁側先攻。雨天、その他は順延。詳細は東都大学野球連盟ホームページ（http://www.tohto-bbl.com）で。